

水道水をお届けし続けるために

～地震に強い管に交換する工事を行っています～

どのような工事？

水源から流れてくる水を取り入れる高間木取水場と宇都宮市の約6割の水道水を作っている松田新田浄水場を結ぶ管を地震に強い管に交換する工事です。この工事により、災害時でも水道水の安定供給を行うことができます。



水道ぼうやの取材レポート

どんな管に交換するのかな？

これが取水場から浄水場までを結ぶ管で**導水管**と呼ばれるよ。
1秒間になんとお風呂**8杯分***も水を流すんだ！*お風呂の水を200ℓとした場合



新しい導水管

(ダクタイル鋳鉄管)

- 衝撃に強く、さびにくい素材。
- 管をつなぐ部分は伸縮性があり、地震に強い構造。

この導水管は長さ6mで重さ3.5トンもあるよ！



ほくの顔もすっぽり入る～！
直径は1m20cmもあるんだ！



平成29年度予算における主な取組

詳しい予算額についてはHPをご覧ください。

宇都宮市上下水道局 予算

検索

水道水の安心給水の推進

約20億円

安全でおいしい水道水をお届けするため、水のおいの元となる物質を測定する装置を新たに設置するほか、水道施設の整備や漏水箇所の調査・修繕、古くなった水道管の交換に取り組みます。



▲古くなった水道管を交換する様子

下水の適正処理の推進

約28億円

生活排水を適正に処理し、快適な生活環境を確保するため、下水道管や施設の整備するほか、大雨等による浸水被害の解消を促すために、雨水幹線の整備などに取り組みます。



▲工事後の汚水を処理する施設

上下水道施設耐震化の推進

約9億円

取水場と浄水場を結ぶ導水管の耐震化や、汚水を最終的に処理する場所である水再生センターへ汚水を流す大きな下水道管の耐震化などに取り組みます。



▲地震に強い導水管